

例6 [テーマ] 神の愛をあかしする / [手法] キャンドルナイト

参照箇所: 『ラウダート・シ』216~227、238~245
『見よ、それはきわめてよかった』70~76



神は愛をもって世界を創造しました。また、わたしたちをその愛に満ちた交わりの世界へと誘っておられます。傷つき、分断された世界の中で、心は恐れや落胆でいっぱいになってしまうかもしれません。しかし、希望は「出口への道は必ずある、進む道はいつでも変えることができる、問題解決のためにできることは必ずある」(『ラウダート・シ』61)とわたしたちを招きます。

電気、テレビを消し、スマホからも距離をとり、ろうそくや、LED ライトキャンドル／ソーラーランタンの明かりのみで過ごします。世界に思いを馳せたり、神のいつくしみに身を沈める時をもちましよう。そして主において味わうことのできる喜びと慰めに満たされ、神の愛をあかししていく恵みを願いましょう。

参考: カトリック東広島教会の信徒有志「キャンドルナイト」 (2023年12月)



個人または共同体で (30分~1時間)

- 祈りの雰囲気を保てる場所を選び、明かりを消します。
- ろうそく、または LED ライトキャンドル／ソーラーランタンを灯します。
- しばらく沈黙の時間を持ちます。
世界に思いを馳せたり、神のいつくしみに身を沈める時間にします。
- 最後に心から湧いてくる祈りをささげるのもよいでしょう。

実施する際の工夫

- ◇ 実施する日時のみを決め、場所はそれぞれの家庭や共同体で行うこともできます。
- ◇ 実施した様子を記録し、SNS で発信してもよいでしょう。ハッシュタグ付きで発信することで、世界規模のアクションとなります。